

株式会社 BgenuineTec



目	次
---	---

」 はじめに(必ずお読みください)	1
1.1 はじめに	1
1.2 ご使用にあたって	1
2 この製品について	2
2.1 SDM とは	2
2.2 動作環境	3
2.3 基本的な使用手順	4
2	
う SDM のインストールと起動	6
3.1 SDM をインストールする	6
3.2 SDM を起動する	7
3.3 2 台以上の PC で SDM を使用する場合	8
3.4 SDM をアンインストールする	10
1	
4 デバイス管理	12
4.1 SD-Gate72 接続の準備をする	12
4.2 デバイスを接続する (SCⅡの場合)	15
4.3 デバイスを接続する (SC Ⅲ の場合)	20
4.4 デバイスの設定を行う	24
5	
ノ ユーザ管理	28
5.1 IC カードを登録する	
5.2 指紋を登録する	
5.3 アクセス権限を登録する	

5.4	ユーザを更新する	.42
5.5	ユーザを削除する	.42
5.6	ユーザをエクスポート / インポートする	.43

<u>6</u>)	データの転送	46
6	5.1	同期をとる	47
6	6.2	データベースを複写する	

7 口グ管理

	ログ管理	52
7.1	ログを取得する	52
7.2	ログをエクスポートする	54
7.3	ログを出力する	55
7.4	ログを削除する	57
7.5	ログを自動的に取得する	58

8	勤怠レポートの作成	61
8.1	勤怠レポートを作成する	61

0.1	デーカベーフ 答理 ツールた体田 オス	21
9.1	ノーダハース自住ノールを使用する	 54

<u>9</u> _{データベースの管理} 9.1 データベース管理ツーム 10 _{その他の機能}

10.1	オペレータを設定する	66
10.2	パスワードを変更する	67
10.3	データベースの設定を変更する	68
10.4	データベースを空にする	69
10.5	ユーザデータを抽出する	70
10.6	登録ユーザを出力する	71

64

66

1 はじめに(必ずお読みください)

1.1 はじめに

この度は、SDM をご利用いただきありがとうございます。SDM をご使用になる前に、本書を必ずお読 みください。

SDMは SD-Gate72 専用のアプリケーションです。SD-Gate72 を接続したコンピュータでのみ正しくご 使用いただけます。SD-Gate72 の取扱いにあたっては、SD-Gate72 に付属の取扱説明書(設置 編)および取扱説明書(ユーザ編)を必ずお読みください。

なお、SD-Gate72 以外の指紋・カード認証装置を接続して SDM をご使用いただくことはできませんのでご了承ください。

1.2 ご使用にあたって

お客様が SDM のインストールを行われた場合、次の事項にこ同意されたものとさせていただきます。

- 本製品および本製品に付帯するすべての資料の著作権は弊社にあります。
- 本製品は、弊社による本製品の使用許諾によって使用権を得て使用するものであり、本製品のインストーラ、プログラム、および付帯資料の複製、再配布は禁止されています。ただし、使用権を所有するお客様は、バックアップの目的でのみ複製を1 部作成して保持することができます。
- 本製品の改変、組込、逆コンパイル行為は禁止されています。
- 本製品の使用権は、いかなる方法によっても、第三者に貸借、譲渡できません。
- 本製品の消去、破損について、弊社は一切の保証をいたしません。必ずバックアップを保管してください。ただし、本製品配布時の記憶媒体の欠陥により本製品が消去、破損したと弊社が判断した場合は、無償で保証に応じるものとします。
- 本製品の使用によって生じたデータの消失や破損、およびそれに伴って生じた損害に関しては、弊社は一切の責任を負いか ねます。

2 この製品について

2.1 SDM とは

SDM は、SD-Gate72 を管理するためのソフトウエアです。SD-Gate72 のユーザやアクセスログの管理、SD-Gate72 の設定変更などをこのソフトウエアで行うことができます。

※運用上の注意:

SDMでの管理を開始しましたら、ユーザデータの登録・更新・削除は SDM でのみ行い、SD-Gate 72 本体からは極力行わないでくたさい。データの不整合が発生する原因になる場合があります。

SDM には次のような機能があります。

■ デバイス管理

SD-Gate72本体のことを、本書では**デバイス**と呼びます。SDMを使用してデバイスの設定や、登録 ユーザの管理を行うことができます。

■ ユーザ管理

SD-Gate72本体にはユーザ情報が記録されるメモリがあります。センサーから指紋やカードの情報が 入力されると、その情報と照合を行うしくみになっています。

一方、PC にインストールされた SDM にもデータベースが存在します。SDM でユーザ登録を行うと、ユ ーザデータはこの SDM のデータベースに登録されます。つづいて同期処理を行うことによって簡単にデ バイスへ情報を転送して登録することができるのです。

■ ログ管理

SD-Gate72 で行われた操作は本体内のメモリにログとして記録されます。SDM を使用すると、この 記録を回収し管理することができます。回収したログは、SDM に付属の勤怠管理ツールを使用して 勤怠表や勤務レポートとして編集することができます。

2.2 動作環境

SDM をご利用いただけるコンピュータの環境は次のとおりです。

対応機種	各社 DOS/V パソコン	
	CPU: Pentium 500MHz 以上	
	メモリ: 128Mb 以上	
	ハードディスクの空き: 50Mb 以上	
	ディスプレイ: SVGA カラー600×800 以上	
	CD-ROM ドライブ搭載	
対応 OS	Windows ME/XP/NT/2000/2003	

<u>※本書では Windows XP professional を例に説明いたします。ご了承ください。</u>

2.3 基本的な使用手順

基本的な機能と手順は次のとおりです。

SD-Gate72 を設置する 取扱説明書(設置編)をご覧ください
SDM を PC にインストールする 「3. SDM のインストールと起動」をご覧ください
SDM を起動する 「3. SDM のインストールと起動」をご覧ください
SDM に SD-Gate72 を登録する 「4 デバイス管理」をご覧ください
SDM にユーザを登録する 「5 ユーザ管理」をご覧ください
SDM のデータを SD-Gate72 に転送する 「6. データの転送」をご覧ください
ログを管理する 「7 ログ管理」をご覧ください

その他の機能については、次のとおりです。

勤怠レポートを作成する ……「8. 勤怠レポートの作成」をご覧ください データベースのバックアップ・リストアを行う ……「9. データベースの管理」をご覧ください その他の機能について

……「10. その他の機能」をご覧ください

3 SDM のインストールと起動

SDM をインストールし、起動してみましょう。

3.1 SDM をインストールする

■ SDM をインストールする

CD-ROMをPCのCDドライブに挿入します。インストール画面が起動しますので、画面の指示に従ってください。インストール画面が起動しない場合は、CD-ROM内のSDMV1.00.exeを実行し、画面の指示にしたがってインストールしてください。

インストールが完了したら、続いてデスクトップ指紋スキャナの接続を行います。



■ デスクトップ指紋スキャナのドライバをインストールする

インストールした SDM は**デスクトップ指紋スキャナ**が**ハードキー**となって起動します。このスキャナーを 接続しなければ SDM を起動することはできません。

デスクトップ指紋スキャナーをPCのUSBポートに初めて接続したときは、PCにドライバをインストール する必要があります。インストール方法については、インストールディレクトリ内の SD-Gate FP Scanner Installation Guide.pdf(デフォルトの場合、Windows のスタートメニューより、プログラム > SDM > Installing SD-Gate FP Scanner Guide)をお読みください。



-		SDM(V1.00)	SD-Gate FP Scanner Installation Guide
	プログラム(E)	*	SDM
ò	最近使ったファイル(型)	•	SDM Help
2	設定(S)	•	③ テータベース管理ワール 翻 ログ収集ツール
P	検索(2)	•	◎ 動意レポート作成ツール
0	ヘルプとサポート(日)		
	ファイル名を指定して実行(B)。		
ា	シャットダウンロレー		

3.2 SDM を起動する

 デスクトップ指紋スキャナが PC に接続されていることを確認し、Windows のスタートメニューより、 プログラム > SDM > SDM を選択してください。ログイン画面が表示されます。



(2) インストール直後では、次のオペレータが設定されています。

オペレータ名:admin パスワード:password

ログインすると、初期画面(ユーザ登録画面)が表示されます。

# 7 @ 7/1/2#1@ 2-4/9#1@ 07#1@ 07#1@ 07#1@ 07#1@ 07#1@	🕅 SDM (SD-Gate Manager)		<u>×</u>
• ** ***	終了(R) デバイス管理(S) ユーザ管理(T) デー!	5の同期(U) ログ管理(V) ツール(W) システム(2) ヘルプ(Y)	
Image: Second	- + 11 in		
Image: Second		フーザ登録	
2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478 2-478	検索 ユーザID マ	画 カードIDを検索	表示順: ユーザID + ユーザ名 🔹
	ユーザー覧 データ合計	0 🖉 E 🦳 D 🖳 H 🔊 I	A A Co Co
Image: Second	ユーザID ユーザ名		
1 1			
4di Bit BFB BFB UD01: 141-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 1575-5 <		ユーザID: 変更 更 カードID読取	
Image: State Control Upper Upper <th></th> <th>名前:</th> <th></th>		名前:	
		部署: 権限 (1-サ	
		リンクNo.: サイトコード ランドコード	
		認証方法 合計デバイス数	
		□ カード □ カード □ カードのみ	
		□ 指紋	
		,	
「 「 「 「 「 「 「			
	閲覧モード		

(3) SDM を1 台の PC だけで使用する場合は、「4 デバイス管理」に進んでください。SDM を2 台

^{※ &}lt;u>ログイン後、ただちにパスワードを変更することを強く推奨します。パスワード</u> の変更は「10.2 パスワードの変更」をご参照ください。

以上の PC で使用する場合は、次の「3.3 2 台以上の PC で SDM を使用する場合」に進んで ください。

3.3 2 台以上の PC で SDM を使用する場合

通常、SD-Gate72の管理は、SDMを使用して1台のPCで行います。2台以上のPCにSDMを インストールすると、それぞれのPCにSDMのデータベースがインストールされるため、データベースの 矛盾が発生してしまいます。そこで、複数のPCでSDMを使用する場合は、1台のPCに設定した 1つのデータベースを、その他のPCのSDMで共有する必要があります。PCとSDMを次のように設 定してください。

- SDM サーバの設定を行う
- (1) 主に使用する PC に SDM をインストールします。(以後この PC を「SDM サーバ」と呼びます。)
- (2) SDM サーバの、SDMインストールディレクトリ内にある[Database]フォルダを「共有」に設定します (デフォルトでは C:¥Program Files¥SDM¥Database)。フォルダを右クリックし、[共有]タブで[ネッ トワーク上でこのフォルダを共有する]にチェックを入れます。また、[ネットワークユーザーによるファ イルの変更を許可する]にもチェックを入れます。



SDM クライアントの設定を行う

- (1) 2台目以降の PC に SDM をインストールします。(以後この PC を「SDM クライアント」と呼びま す。)
- (2) SDM の[システム]メニューより、[データベースの設定]を選択します。

🕅 SDM (SD-Gate Manager)	
終了(R) デバイス管理(S) ユーザ管理(T) データの同期(U) ログ管理(V) ツール(M	システム(の) ヘルプ(の)
	オペレータの設定(U) パスワードを変更(V)
検索 ユーザID 💽	データベースの設定(W) データベースを空にする(X)
ユーザー覧 データ合計:18 (※ E ※ P ※ II ※) L ユーザロ ユーザ名 ユーザ体振 コーザのアクトコ 株	ユーザデータを抽出(Y) 登録ユーザを出力 (Z)

(3) [データベースのパス]の[参照]ボタンを押し、SDM サーバの共有設定した[database]フォルダにパ

スを変更します。



(4) SDM の再起動メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると、自動的に SDM が終了します。

データペー	スの設定	<
⚠	データベースのパスが変更されています。システムを終了します。アプリケーションを再起動してください。	

(5) SDM を再起動します。ログイン画面が表示されれば、SDM サーバの[database]フォルダへの接続が正常に行われていますので設定完了です。正常に接続されない場合、データベースのパスを再確認する画面が表示されます。

データベースのパス
終了(乙)
データベースのパス:
O¥Program Files¥SDM(V2.00)¥database
ODBCオプション □ ODBCで外部データベースに接続する (接続データ:デバイス、ユーザ、ログ、アクセス権限) □ ODBC 管理者

正常に接続されない場合、次のことを確認してください。

・データベースのパスは正しいですか?

・共有の設定を行いましたか?

・お使いの PC で、Windows の Explorer を使用して、指定したサーバの[database]フォルダ内の ファイル名を見ることができますか?また、サーバにアクセスする際 ID やパスワードが必要な場合 は、サーバにログインしなければ SDM からアクセスできません。ログインしてから SDM を起動する か、サーバのアクセス条件を変更してください。

(6) 設定が終わりましたら、「4 デバイス管理」に進んでください。

3.4 SDM をアンインストールする

SDM をアンインストールします。

- Windows のスタートメニューより、設定 > コントロールパネル を選択し、[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。
- (2)「現在インストールされているプログラム」から SDM を選択し、削除ボタンを押してください。



- (3) アンインストールされました。ただし、インストールディレクトリ内に、インストールされたファイルやフォ ルダ以外のデータが保存してあると、アンインストールが完了してもインストールディレクトリとそれ らのデータは消去されずに残りますのでご注意ください。
- デスクトップ指紋スキャナのドライバをアンインストールする
- (1) Windows デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。



(2) プロパティ画面の中の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンを押します。



(3) [ポート]の中の[SD-Gate Desktop FP Scanner]を選択し、右クリックメニューより[削除]を選択します。

旦 デバイス マネージャ		
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)		
 ■ ■ GNRLCTRL_01 ■ ■ DVD/CD-ROM ドライブ ■ ■ キーボード ■ ■ キーボード ■ ■ コンピュータ ■ ■ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ ■ ■ システム デバイス ■ ■ オットワーク アダプタ ■ ■ オート (COM と LPT) ■ ■ EOP プリンタ ポート (LPT1) ■ ■ BO-Gate Desktop FP Scanner (COM4) ■ ■ 3 通信ポート (COM1) ■ ■ マウスとそのほかのポインティング デバイス 	ドライバの更新(P) 無効(D) 削除(U) ハードウェア変更のスキャン(<u>A</u>) プロパティ(<u>B</u>)	
選択したデバイスのドライバを削除し。		



4.1 SD-Gate72 接続の準備をする

SD-Gate72 のことをここでは**デバイス**といいます。デバイスと PC を接続するためには、通信環境を準備する必要があります。SC II の場合はこの後の「**シリアル通信**の準備をする」、SC III の場合は「**イー** サネット通信の準備をする」に従って準備をしてください。

■ シリアル通信の準備をする(SC II の場合)

PCにRS-232CまたはUSBインターフェイスがあることを確認してください。USBを使用する場合は、 付属のUSB/シリアル変換機の準備を行います。また、SDM で通信を行う COM ポートの番号を、 事前にチェックしておきます。

- (1) RS-232C インターフェイスがない場合は、USB/シリアル変換機をPC に接続し、変換機に 付属している CD-ROM を使用してデバイスドライバをインストールします。インストール方法 については、添付の「USB/232C 変換ケーブルご利用ガイド」をご参照ください。
- (2) Windows デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。



(3) プロパティ画面の中の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンを押します。

システムのプロパティ	? 🗙
全般 コンピュータ名 ハードウェア 詳細設定 システムの復元 自動更新 リモート デバイス マネージャー デバイス マネージャー デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード ウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのブ ロバティを変更できます。	[デバイスマネージャ]ボタン を押す
ドライバの署名を使うと、インストールされているドライバの Windows との互換性を確認できます。ドライバ取得のために Windows Update へ接続する方法を Windows Update を使って設定できます。 ドライバの署名(S) Windows Update (W)	
ハードウェア ブロファイル ハードウェア ブロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納 することができます。 ハードウェア ブロファイル(P)	
OK キャンセル 適用(

 (4) [ポート]の中の[通信ポート]に割り当てられている番号(下図の例だと[COM1])をメモして おきましょう。USB/シリアル変換器を使用する場合はインストールした変換器[Prolific USB-to-Serial Comm Port]の番号(下図の例だと[COM6])をメモしておきます。この番 号は後の「4.2 デバイスの接続(SCIIの場合)」で使用します。

鳥テバイス マネージャ	
ファイル(E) 操作(<u>A</u>) 表示(V) ヘルプ(H)	
← → 🗉 🗳 🎒 😫 🗮 🦔 🛃	
B - ● GNRLCTRL_01 DVD/OD-ROM ドライブ IDE ATA/ATAPIコントローラ IDE ATA/ATAPIコントローラ IDE ATA/ATAPIコントローラ IDE ATA/ATAPIコントローラ マンロータ マンローク マンローク	2

準備が整いましたら、「4.2 デバイスの接続(SC II の場合)」へ進んでください。

■ イーサネット通信環境を準備する(SC III の場合)

SD-Gate72とEComの接続と設置には、次のものが必要になります。

- ・ SD-Gate72 設置場所までの LAN 配線
- SD-Gate72 に割り当てる IP アドレス

準備が整いましたら、「4.3 デバイスの接続(SC III の場合)」へ進んでください。

4.2 デバイスを接続する (SCⅡの場合)

シリアル接続を行います。接続の前に、次のことを確認してください。

- SD-Gate72の設置はお済みですか?
- SD-Gate72 に電源は入っていますか?
- SD-Gate72 に管理者を登録しましたか?
- PC にデスクトップ指紋スキャナーは接続されていますか?

確認が終わったら接続します。接続の手順は次の通りです。

(1) SD-Gate72 のコントローラユニットのパネルを開け、PCと SD-Gate72 をケーブルで接続します。



A. RS-232C ケーブルでの接続例



B. RS-232C ケーブルと USB/232C 変換ケーブルを使用した接続例

(2) PC で SDM を起動します。ログインの初期値として、オペレータ:admin, パスワード:password

が設定されています。(※注意:ログイン後、ただちにパスワードを変更してください。)



(3) SDM の[デバイス管理]メニューから[デバイスの接続]を選択してください。

🕅 SDM (SD-Gate Manager)			
終了(R)	デバイス管理(<u>S</u>)	ユーザ管理(T)	デ
2	デバイスの接続	Ý 🕎	
	デバイスの設定	(Z)	
	Lize I		

(4) [新しいデバイスを読み込む]ボタンを押します。

「デバイスの接続	×	
10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	- 17/1/1/st	
株本 デバイス名 」 デバイス名 ジーン 接近 デバイス名 ジーン 接近 オバロのは2 メート 100012 ラスト 1 ラスト型 (Fyres)IC ラスト 2 ラスト型 (Fyres)IC フスト 2 ラスト型 (Fyres)IC	No.0777728282846 E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	[新しいデバイスを読み込む]ボタン

(5) SD-Gate72 の接続に使用している COM ポート番号をセットし、[開始]ボタンを押します。



(6) 次に、SD-Gate72のコントローラユニットからデバイスIDを発信させるため、ユニットの同期を取ります。(ユニットの同期については、SD-Gate72本体に付属の取扱説明書(ユーザ編)をご参照

ください。)

スイッチ 1 🎦 を2秒間押し、続いてスイッチ1を3回押します。 灯 灯

- (7) ブザー音が鳴り始めたら、指紋認証ユニットで管理者の認証を行ってください。これでデバイス ID の発信は完了です。
- (8) SDM の[新しいデバイスを読み込む]画面に、接続した SD-Gate72 の情報が表示されたら[終 了]ボタンを押してください。これで SD-Gate72の接続に成功し、デバイスの情報が SDM に追加 されました。2 台以上の SD-Gate72 を接続する場合は、(1)-(8)を繰り返してください。



※「新しいデバイスを読み込む」ポタンを押して SD-Gate 72 の同期を取ったあと、数分待っても情報が表示されない場合

次の事項をご確認ください。

- ・ COM ポート番号の不一致が考えられます。COM ポート番号を確認してください。
- ・ ケーブル等の接触不良が考えられます。シリアルケーブルを挿し直してください。
- ・ SD-Gate72への電力供給不足が考えられます。電力の安定している電源に接続しなおしてください。

SC II のデバイス ID について

シリアル接続で SD-Gate72 を SDM で管理する場合、SDM はデバイス ID を使って SD-Gate72 を識別するため、それぞれ に固有のデバイス ID が割り当てられる必要があります。 通常はデバイス ID の割り当て処理は、デバイス接続時に自動的に行われます。

■ デバイス ID を自動的に割り当てる場合

SD-Gate72 に PC を接続し、SDM の[デバイス管理]メニューの[デバイスの接続]で、[新しいデバイスを読み込む]ボタンを押 した後、前述の手順にしたがってユニットの同期を行います。同期が成功すると、ユニットには自動的にデバイス ID が割り当 てられ、SDM はデバイス ID を受信し表示します。SDM の操作については、SDM のヘルプをご参照ください。(※SDM のヘル プとは、SDM のメニューで「ヘルプ」を選択して起動するオンラインヘルプのことです。)

■ デバイス ID を手動で割り当てる場合

デバイス ID の割り当ては SDM で行います。SDM の[デバイス管理]メニューの[デバイスの接続]で、割り当てたいデバイス ID (1 以上のユニークな数値)を入力します。SDM の詳しい操作については、SDM のヘルプをご参照ください。(※SDM のヘル プとは、SDM のメニューで「ヘルプ」を選択して起動するオンラインヘルプです。) (9) [デバイス名]と[デバイス ID]が自動入力されました。[ロケーション][ゾーン]を必要に応じて入力してください。

「デバイスの接続			x
M-1 C	_	ithr/1	斯尔利森
検索 デバイス名	•		◇ 新しいデバイスを読み込む
<u>デバイス名</u> F1000013	デバイスーセ ダーン	王 授続 [TypeS][[€ E € E € N € L ⊕ A € D 2 2 0 0 7/512/04
572 h 1 972 h 2	100,128 129 72,185 72,185	TypeSIL TypeSIL TypeSIL	#ゲイスタ、FLODEUT3 デバイスカ 2 サイナミローGale ワシージョン シーン・ COME#pr2AB ElfoDE3とま COME#pr2AB ElfoDement Bitt572.1 ユーザの存在880 Ferrial Commencetion COME#pr2AB Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion Commencetion C
		2	
NONE-F			



※どちらも空白のままでも構いません。[ゾーン]はデバイスを検索する際に使用できる項目ですので、複数のデバイスから検索したい場合には、設定してあると便利です。

■ 手動でデバイスを登録する

手動でデバイスを登録することもできます。デバイス名を自由に設定したい場合などに使用します。

- (1) SD-Gate72とPCをケーブルで接続します。
- (2) [デバイス名]を入力します。
- (3) [デバイス ID]を入力します。重複しないよう、SCII を1台登録するごとに 1, 2, 3, 4,…と連番で付けるのが良いでしょう。
- (4) 必要に応じて[ロケーション][ゾーン]を入力します。
- (5) COM ポート番号を入力します。
- (6) 保存ボタン 25を押します。
- (7) [接続テスト]ボタンを押し、接続できることを確認してください。

デバイスの	接続	×
i	接続テストに成功しま	ました。
	OK I	

※接続が成功しない場合

次の事項をご確認ください。

・ COM ポート番号の不一致が考えられます。COM ポート番号を確認してください。

・ デバイス ID の付与が適切でない可能性があります。登録してある SCII のデータをいったん削除し、再度 デバイス登録を行ってし直してください。(デバイス登録を削除すると、そのデバイスへのユーザアクセス権限も削 除されます。再登録後はアクセス権限の付与を再度行ってください。)

4.3 デバイスを接続する (SC Ⅲの場合)

イーサネット接続を行います。接続には、次の作業が必要です。

- ECom の設定を行う
- SDM の設定を行う

■ ECom の設定を行う

EComの設定は telnet を使用して行います。設定を開始する前に、次のことを確認してください。

- SD-Gate72の設置はお済みですか?
- SD-Gate72 に電源は入っていますか?
- SD-Gate72 に ECom が接続されていますか?
- ECom は LAN に接続されていますか?
 また、複数の SD-Gate72 の ECom 設定を行う場合、1 台だけが LAN に接続されていますか?
 (ECom には出荷時にデフォルトの IP アドレスを設定してあります。一度に複数を接続する と、IP アドレスがネットワーク内で重複してしまいますので、1 台ずつ接続して設定します。)
- ECom の設定を行うPC は、LAN に接続されていますか?

確認してOKでしたら、接続を開始します。

■注意:スイッチング HUB について

ECom を LAN に接続する際にスイッチング HUB を使用する場合、スイッチング HUB の機種によっては、ECom に接続できない場合がございますのでご注意ください。

動作確認済みスイッチング HUB:

メーカー	大学を
Corega	SW05GTV2B
Netgear	FS605
	FS516
Dlink	DES1008D
	DES1024D
Planex	FX-08EU

- ECom の設定を行う PC の IP アドレスを 90.0.0.1 に設定してください。(これは、ECom のデフォ ルト IP が 90.0.0.60 に設定されているためです。)
- (2) EComとPCをイーサネットで接続し、EComにログインして設定を行います。コマンドプロンプトを 起動し、

>telnet 90.0.0.60

と入力してください。(telnetのセッションは約20秒交信がないと自動的に切れます。)

(3) ECom へのログインパスワードの入力を促されます。デフォルトのパスワード"astar"を入力します。 (※ログイン後、速やかにパスワードの変更をおこなってください。パスワードは8文字以内で登録 できます。)

>Enter Password:astar

(4) ログインすると次のような表示が出ます。ECom の IP アドレスを設定するため、"1"を入力してく ださい。



(5) 現在のEComの設定が表示されます。下の方に設定項目が表示されますので"1"のIPを選択します。

******	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
1 Config	g Device Parameters	
******	**********	
Current	: _	
IP	: 090.000.000.072	
Gateway	: 001.002.003.004	
Port	: 03001	
Subnet	: 255.255.255.000 (08)	
1. IP		
2. Gatev	vav	
3. Port		
4. Subne	et	
R. Retur	rn	
Select :		

(6) IP 入力を促されます。設定する IP アドレスを入力します。次に例を示します。

>Enter IP:192.168.001.101

- (7) 同様に"2"の Gateway, "3"の Port, "4"の Subnet を設定します。完了したら、"R"を入力して 元の画面に戻ります。
- (8) お使いの LAN がクライアント/サーバ型であれば、サーバの IP アドレスを設定します。"2"を入力 します。



(9) 現在のサーバの設定が表示されます。"1"の IP を選択します。



(10)サーバの IP アドレスを入力します。次に例を示します。

>Enter IP:192.168.001.001

- (11)完了したら、"R"を入力して元の画面に戻ります。
- (12)パスワードを変更するには"3"を選択します。新しいパスワードの入力を促されますので、新パス ワードを入力してください。

>Enter New Password (Max 8 Char):

パスワードの変更が成功したら、次のメッセージが表示されます。

Password was changed!

ただし、次のステップで保存・終了しないと変更は有効になりませんのでご注意ください。

- (13) "S"を入力して設定を保存・終了します。("Q"を入力すると保存しないで終了します。)
- (14)PC の IP アドレスを元に戻します。

■ SDM の設定を行う

続いて、管理ソフトウエア SDM で SD-Gate72 に接続します。次のことを確認してください。

- PC にデスクトップ指紋スキャナーは接続されていますか?
- ・ PCのIPアドレスを元に戻しましたか?
- (1) SDM を起動し、[デバイス管理]メニューより[デバイスの接続]を選択します。

🕅 SDM (SD-Gate Manager)							
終了(<u>R</u>)	デバイス管理(S)	ユーザ管理(①	デ				
- A	デバイスの接続	Y 🕎					
	デバイスの設定	(Z)					

(2) [デバイスの接続]画面でデバイス名を入力し、[通信の設定]で[Ethernet]を選択して、ECom に設定した IP アドレスと Port 番号を入力します。

<mark>開デバイスの接続</mark> 終了② 検索 (テ/パス名) デバイスー覧 (データ合計・3)		デバイス名を入力
デパイス名 ゾーン 接続 ▲ GATE-105 [TypeE]II GATE-106 [TypeE]II GATE-999 [TypeS]IC	デバス体報 デバス体報 デバス名: GATE-105	Ethernet を選択
	U/ マタン・ ソーン: COMチャンネル COMチャンネル C [S]erial C [E]thernet 接続テスト ユーザの存在確認 Ethernet IP Address: [192168.001.105 Ethernet Port :3001	IP アドレスと Port 番号(デフォルトでは 3001)を入力

(3) 必要に応じて、[ロケーション][ゾーン]を入力します。

入力例: [ロケーション]…会議室A [ゾーン]……本社1階

※どちらも空白のままでも構いません。[ゾーン]はデバイスを検索する際に使用できる項目ですので、複数のデバイスから検索したい場合には、設定してあると便利です。

- (4) [接続テスト]ボタンを押します。接続に成功するとメッセージが表示されます。成功しない場合 は、EComの設定・SDMの設定に間違いがないか、確認してください。
- (5) 複数の SD-Gate 72 を接続する場合は、(2), (3)を繰り返します。

4.4 デバイスの設定を行う

SD-Gate72本体の時計をセットします。また、保存するログの種類を設定します。

- SD-Gate72の時計をセットする
- (1) SDM の[デバイス管理]メニューより[デバイスの設定]を選択します。

🕅 SDM (SD-Gate Manager)						
終了(B) デバイス管理(S) ユーザ管理(T)						
📃 🎄	デバイスの接続	Y 📷				
	デバイスの設定	(Z)				

(2) [デバイスの設定]画面が表示されます。画面左上の[デバイスを選択]ボタンを押します。

『デバイスの設定 タフク 〕						
*/2 デバイスの設定						
選択したテバイス 合計:0	調査 日時をチェック 日時を設定 プロパティ					
🧐 デバイスを選択 📝 全てのデバイスを選択	選択したテバイスの接続をチェック					
デバイス名 ゾーン 接続						
	第 選択したデバイスを調査する					
	デバイス名 ファームウエア キャパシティ 状態 結果					
T	· · ·					

(3) デバイス選択画面が表示されます。画面上段で、設定を行う SD-Gate72 をクリックして選択し、

[追加]ボタン 追加を押します。

聞 デバイス選択								2	×
終了(2) 並べ替え条件(デ)	(72名)			デバイス一覧			データ合	計:2 🍾 🏘	
テバイス名	ゾーン			接続			, ,,,		1
GATE-105 GATE-106				[Type:E][II	P:192.168.00	1.105][POR 1.106][POR	T:3001]		
				[Type-c][t	.102.100.00	1.100][101	1.0001]		
	~								
\bigcirc	\bigcirc	11		8					
<u>削除</u> 並べ替え条件[デ/	追加 イス名」	36200 CR1077 6	к200 С.ШЛШ ;	_ 全(削除 賞択テバイス	全(追加		データ合	計:0 ≽ 橋道	
テバイス名	ゾーン			接続					1
D									

- (4) 画面下段に選択した SD-Gate 72 が表示されたら、[終了]をクリックして画面を閉じます。
- (5) [デバイスの設定]画面の右側の[調査]タブを選択し、[選択したデバイスを調査する]ボタンを押します。SD-Gate72から本体の情報が読み込まれ、表示されます。



(6) [日時をチェック]タブを選択し、[デバイスの日時をチェック]ボタンを押します。SD-Gate72 本体の時計の時刻(デバイスの日付・時間)と、PCの時刻(システム時間)、本体とPCの時間差が表示されます。

	<u>デバイス</u>	の設定					
調査	日時をチ	エック 日時を	設定 プロパティ				
	選択したデバイスの日時をチェック						
<u>></u>	አታፋፀሰ		システム時間		システム曜日		
20	07/02/2	22	13:46:38		木曜日		
Ċ							
			結果				
デバイ	ス名	システム時間	デバイスの日付	デバイスの時間	時間差		

(7)時間差を修正するには、[日時を設定]タブを選択し、[デバイスに日時を設定]ボタンを押します。 SD-Gate72 に PC の日時が設定されます。

デパイスの	設定					
調査 日時をチェ	調査 日時をチェック 日時を設定 プロパティ					
	選択したデバイスに日時を	設定				
<mark>システム日付</mark> 2007/02/22	<u>システム時間</u> 13:57:23	<u>システム曜日</u> 木曜日				
● デバイスに日時を設定						
	結果					
デバイス名	デバイス日付 デバイス時間 結	果				
GATE-105	2007/02/22 13:57:20 デ	バイスの日時のセットに成功しま				

■ 記録するログの種類を設定する

デフォルトの状態では、認証成功時のログのみ保存される設定になっています。必要に応じて、次の ログを保存するよう設定を変更することができます。

(1) [プロパティ]タブを選択し、設定を行うデバイスをドロップダウンリストより選択し、[読込み]ボタンを 押します。選択したデバイスの現在のプロパティが表示されます。

	デバイスの設定
	調査 日時をチェック 日時を設定 プロパティ
_	デパイス設定の読込/送信
	デバイスを参照 GATE-105 💽 💽 読込み 😂 🍲 選択したデバイスに送る
	Wieganu/バンス ドア市小町 ロクオフジョン MilsC.

(2) [プロパティ]タブ内の[ログオプション]タブをクリックします。選択したデバイスの現在のログ保存の 設定が表示されます。

ブ/11人を変焼 [GAIE-100		•
Wiegandガジェ、 トア市加速	р цолорар [Misc.]	
፼イベントの追跡──		
○ しない ○ う	53	
፼ エラーの追跡────		
○ しない ◎	58	
L		

 [イベントの追跡]
 [する]をオンにすると、イベントログが保存されます。 リレーイベント(ドアリレー、アラームリレーの動作)、管理イベント (SD-Gate72本体側での登録やデバイス設定変更など)、警告イベント(ユニットの不正な取り外しなど)が記録されます。
 [エラーの追跡]
 [する]をオンにすると、エラーログが保存されます。認証エラーが記録されます。

(3) ログオプションの設定が完了したら、[選択したデバイスに送る]ボタンを押します。ドロップダウンリ ストで選択されたデバイスへ設定が適用されます。

さらに続けて、同じ設定を別のデバイスにも適用することができます。ドロップダウンリストより、設定を行うデバイスを選択し、[選択したデバイスに送る]ボタンを押します。

5 ユーザ管理

SDM を使用してユーザの登録・更新・削除を行います。

SD-Gate72 のユーザには、次の3通りの認証方法のいずれかを設定することができます。いずれも SDM から登録することが可能です。

(SD-Gate72 本体を操作してユーザ登録を行い、SDM にユーザデータを転送する方法もありますが、データ不 整合の原因となる場合があるため、注意が必要です。SD-Gate72 本体でのユーザ登録については取扱説明 書(ユーザ編)を、ユーザデータを SDM に転送する方法については、本書の「6 データの転送」をご参照ください。)

■ IC カードのみ

非接触型 IC カードをかざして認証する方式です。「5.1 IC カードの登録」および「5.3 アクセス権 限の登録」を行ってください。



■ 指紋のみ

指をセンサーに置き、指紋で認証する方式です。「5.2 指紋の登録」および「5.3 アクセス権限の 登録」を行ってください。



■ IC カードと指紋の組み合わせ(IC カード+指紋)

IC カードを指紋認証ユニットにかざしたあと、指をセンサーに置いて認証を行う方式です。「5.1 IC カードの登録」を行った後、さらに「5.2 指紋の登録」および「5.3 アクセス権限の登録」を行ってください。



■注意:ユーザ登録数について

SD-Gate72 には指紋アカウントとカードアカウントがそれぞれ用意されています。1台の SD-Gate72 に登録できる管理者/ユーザ数は次のとおりです。登録可能数を超えて登録を行うとエラーとなりますのでご注意ください。

管理者

種類	登録可能数
指紋	20
カード	20

ユーザ	
種類	登録可能数
指紋	268
カード	326*

*指紋登録ユーザがない場合は最大で594

5.1 IC カードを登録する

SDM で IC カードを登録するには、SDM 用 IC カードリーダー(別売品)が必要です。次のステップに 従ってすすめてください。



- SDM 用 IC カードリーダーの設定
- (1) IC カードリーダーに電源を入れ、PC のシリアルポートに接続してください。
- (2) Windows のコントロールパネルの「管理ツール」より「コンピュータの管理」を開いてください。画面 左側の一覧から「デバイスマネージャ」を選択し、画面右側の「ポート」の中から、IC カードリーダ ーの接続に使用している通信ポートをさがし、COM ポート番号を確認してください。下の例だと 「COM1」が選択されています。



(3) SDM の[ツール]メニューより、[カードリーダーの設定]を選択します。

グ管理(⊻)	ツールѠ	୬ステム⊗	ヘルプか	
	カードリー カードを4	・ダーの設定(<u>)</u> (ンポート(Z))	7-1
<u></u> 世 力	ードIDを検	索		

(4) (2)で確認した COM ポートを選択し、[Mifare Reader]のラジオボタンを選択したら、[終了] をクリックして画面を閉じます。
🕅 カードリーダーの設定 🔰
終了(2)
カードリーダーの設定
COM設定-
C COM6 C COM7 C COM8 C COM9 C COM10
- カードリーダーのタイプ
O Proximity Reader O Mifare Reader
Wie gand 形式: 26 Bits Standard / Vendor 1

- IC カードの登録
- (1) SDM にログインすると、まず表示されるのがユーザ管理画面です。右上のユーザ追加ボタン ・ な押してください。すでに登録されているユーザに IC カードを設定する場合は「既存ユー ザへのカードの追加登録」に進んでください。

表示順: ユーザID + ユーザ名	•
	\bigotimes

(2) [ユーザ ID]の右側の[カード ID 読取]ボタンを押し、登録する IC カードをカードリーダーに置いてく ださい。読み取りが終了すると、[ユーザ ID]欄にカード ID が自動表示されます。

ユーザ情報	
ユーザID :	2233434598 変更 画カードID読取
名前:	
部署:	▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
リンクNo.:	サイトコード・ ランドコード・
認証方法	合計デバイス数
□ カード	🗖 ታ-ドのみ

- (3) カード ID が表示されると、下方の[認証方法]欄が入力可能となります。「カードのみ」の認証方 式で登録するなら[カードのみ]のチェックボックスにチェックを入れてください。「カードと指紋の組み 合わせ」で登録するなら[カード]および[指紋]のチェックボックスにチェックを入れてください。
- (4) その他の項目を入力します。
 - [権限] このユーザの権限を指定します。[管理者]で登録すると、SD-Gate72本体の管理 モードでの操作を行うことができます。(管理モードについては、SD-Gate72付属の 取扱説明書(ユーザ編)をご参照ください。)

- [名前] 名前を入力します。空欄でも可能です。
- [部署] ユーザの所属部署等を入力します。空欄でも可能です。登録しておくと、以降 の登録ユーザではプルダウンメニューに表示されるようになり、すばやく入力でき ます。
- [リンク No.] アクセスログのエクスポート機能(「7.2 ログをエクスポートする」を参照)を使用したとき、ユーザ ID の項目にこのリンク No.が設定されます。例えば社員番号を登録しておくと、社員番号ごとのアクセスログがエクスポートされるため、他の社員管理システムなどから利用することができます。また、一人のユーザにつき「指紋のみ」と「カードのみ」の2つのユーザアカウントを作成した場合、「カードのみ」のリンク No.に「指紋のみ」のユーザ ID を設定しておくと、エクスポートログには同一ID として出力されます。空欄でも可能です。
- (5) 画面右上の保存ボタン Set を押します。IC カードの登録はこれで終了です。

「カードと指紋の組み合わせ」で登録する場合は、引き続き「5.2 指紋の登録」に進んでください。

<u>注意 : このあと「アクセス権限の設定」と「データの同期」の作業を行うまでは、登録されたユーザ</u> <u>情報は SD-Gate72 本体へはまだ登録されません。「5.3 アクセス権限を設定する」を行った後</u> 「6 データの転送」を行ってください。

- 既存ユーザへのカードの追加登録
- (1) [ユーザ ID]の右側にある[変更]ボタンを押します。ユーザ ID 変更画面が表示されます。

ユーザ情報	ユーザのアクセス権限
ユーザID:	1111 変更
名前:	
部署:	
リンクNo. :	サイトコード: 0
-認証方法 -	

(2) [カード ID 読取]ボタンを押し、登録する IC カードをカードリーダーに置いてください。読み取りが 終了すると、[ユーザ ID]欄にカード ID が自動表示されます。

🕅 ユーザIDを変更 🛛 🗙
終了(型)
ユーザIDを変更
現在のユーザID: 1111
新しいユーザID 🔜 💼 カードID読取
שלא⊐−ה:
ランドコード: <mark>-</mark> の
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

(3) [OK]ボタンを押し、ユーザ ID 変更画面を閉じます。

5.2 指紋を登録する

■ ユーザの登録

まずはじめにユーザ ID を入力します。先に「5.1 IC カードの登録」でカード ID を登録済みの場合は。 このステップをとばして次の「指紋の登録」より進めてください。

SDM にログインすると、まず表示されるのがユーザ管理画面です。右上のユーザ追加ボタン
 金押してください。

表示順: ユーザID + ユーザ名 💽

(2) [ユーザ ID]の欄にユーザ ID を数字で入力してください。

ユーザ情報	
ユーザID:	1234 変更 画 カードID読取
名前:	
部署:	▲ 一種限 ○ 1-サ
リンクNo. :	サイトコード・ ランドコード •
- 認証方法 「 カード 「 指紋	合計デバイス数 ロ カードのみ

(3) ユーザ ID を入力すると、下方の[認証方法]欄が入力可能となりますので、[指紋]のチェックボッ クスにチェックを入れてください。チェックを入れると、画面下方に指紋登録タブが表示されます。 次の「指紋の登録」に進んでください。

■ 指紋の登録

指紋の登録にはデスクトップ指紋スキャナを使用します。次のく正しい指の置き方>を参考にして、 登録を進めてください。



(1) 画面下方の指紋登録タブには、6 つの指紋が登録できます。まず、[1]のタブをクリックしてください。



(2) [指紋読込]ボタンを押します。メッセージに従って、指を指紋スキャナのセンサーに置いてください。

指紋読込
指をセンサーに置き、少しお待ちください。
(TWIDE TO WIT)

(3) 正しく指紋を読み取れると、指紋の画像が表示され、次のメッセージが表示されます。いったん センサーから指を離し、再度センサーに指を置いてください。

指紋読込	
指を上げて、もう一度スキャナーに指を置いてください。 その後「次へ」ボタンを押してください。	

(4) 読取に成功すると、成功のメッセージが下方に表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、再度(2)からやりなおします。

このまま継続して複数の指紋を登録することができます。[2]-[6]タブをクリックし、(2)-(4)の作業 を繰り返してください。



(5) 指紋の入力が完了したら、画面右上の保存ボタン Septimized Sept

<u>注意 : このあと「アクセス権限の設定」と「データの同期」の作業を行うまでは、登録されたユーザ</u> 情報は SD-Gate72 本体へはまだ登録されません。「5.3 アクセス権限を設定する」を行った後 「6 データの転送」を行ってください。 5.3 アクセス権限を登録する

ユーザにはそれぞれアクセス権限を設定します。どのユーザがどの SD-Gate72 を使用するかを、ここで決定することができます。(注意:アクセス権限を設定しないと、どの SD-Gate72 にもユーザ登録さ れません。)

アクセス権限の登録方法は2通りあります。ユーザー人ずつに登録する方法と、SD-Gate721台分をまとめて登録する方法です。

- ユーザー人ずつにアクセス権限を登録する
- (1) ユーザ画面左側の[ユーザー覧]より、アクセス権限を設定するユーザをクリックして選択します。 画面右側に、ユーザ情報が表示されます。

ユーザー覧 データ合計:2	🛞 E 💮 P 🎒 U 🛞 L
<u>ユーザID ユーザ名</u>	ユーザ情報 ユーザのアクセス権限
2233434598	コーザID 2233434598 変更 逆由ードID 読む
	名前:
	部署:
	リンクNo.: サイトコード・クーランドコード・ク
	- 認証方法
	☑ カード □ カードのみ

(2) 画面右側の[ユーザ情報]タブのとなりにある、[ユーザのアクセス権限]タブをクリックします。

ユーザ情報	ユーザのアクセス権限			
ユーザID: 名前:	2	233434598		
部署 : リンクNo. :		_		
アクセス権限の追加/削除 データ合計: 0				
デバイス ▶	名 ゾ・	-2	接続	

(3) [アクセス権限の追加/削除]ボタンを押します。デバイス選択画面が表示されます。

デバイス選択 約フ(7)					×	
並べ替え条件(デバイス デバイス名 ゾ SGATE-105 GATE-106	名 >	<mark>デバイス一覧</mark> 接続 [Type:E][IP:192. [Type:E][IP:192.	デバイス一覧 データ合計:2 N _■ 後谷 接続 [Type:E][IP:192.168.001.105][PORT:3001] [Type:E][IP:192.168.001.106][PORT:3001]			
) <u>ゲ[</u> す[加 まとめて前所除 まとめて)自 名) ーン	◎ 全弾除 全で <mark>遂択テハイス</mark> 接続		[] [] [] [] データ合計) [] [] • 0 🔪 🍇 🗱	

(4) 画面上段より、このユーザが使用する SD-Gate72 をクリックして[追加]ボタン 追加 を押します。 下段には選択したデバイス名が表示されます。

登録済みのアクセス権限を削除したい場合は、画面下段より、削除したい SD-Gate72 をクリッ

クして[削除]ボタン 削除を押します。

(5) [終了]をクリックしてデバイス選択画面を閉じます。これでアクセス権限が登録されました。

アクセス権限を登録すると、画面右上に「データの同期を行ってください」というメッセージが表示 されます。右隣の[データの同期]ボタン データの同期を行うと、アクセス権限を設 定した SD-Gate72 にこのユーザ情報が登録されます。データの同期については「6 データの転 送」をご参照ください。

ユーザ情報	ユーザのアクセス林	雒限		
ユーザID :		2233434598		
名前:				
部署:				
リンクNo. :				
	▽ス権限の追加/	削除		
	1-2	17	-	- 2001-1
GATE-1	05	<i>y = y</i>		13文市元 [Type:E][IP:19

- SD-Gate 1 台分のアクセス権限をまとめて登録する
- (1) SDM の[ユーザ管理]メニューより[アクセス権限]を選択してください。

(SD-Gate Manager)						
デバイス管理(S)	ユーザ管理(工)	データの同期(世)				
	アクセス権限(ユーザをエクス ユーザをインボ	₩) ポート⊗ ?ート\				
	データベースを	被写(Z)				

(2) アクセス権限登録画面が表示されます。

■ アクセス権限 終ス(7)	×
ne 1 🖅	アクセス権限
追加 削除 表示	
1.	ザのアクセス権限を追加
選択デバイス一覧 合計:0	選択ユーザー覧
😟 デバイスを選択 🥻 全てのデバイスを選択	88 ユーザを選択 合計: 0
デバイス名 ゾーン 接続	ユーザID リンクNo. ユーザ名
	۲
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

(3) 画面左上の[デバイスを選択]ボタンを押します。デバイス選択画面が表示されます

🕅 デバイス選択						X
終了(2)						
並べ替え条件「デバイス名」	<u></u>	テバイス一覧			データ合	結: 2 🍾 検索
テハイス名 ワーン	/	技統	109 160 001	1051000	T-90011	
GATE-106		Type:E10F	192.108.001	1061[POR	T:3001]	
		Li)po.cjta				
	2E 🔁	000	8	ΓΙΓΙΓΙ	ΓΙΓΙΓΙ	
前除 追加	まとめて削除まとめて追加	全て削除	全て追加			
並べ替え条件[デバイス名]		選択デバイス			データ合	計: 0 🍾 検索
デバイス名 ゾーン	/	接続				
▶						
1						

(4) 画面上段より、アクセス権限の登録を行う SD-Gate72 をクリックして選択し、[追加]ボタン ・ 追加を押します。下段には選択したデバイス名が表示されます。一度に複数の SD-Gate72 に

__這加を押します。下段には選択したデバイス名が表示されます。一度に複数のSD-Gate72に 設定を行うこともできます。

選択したら、[終了]をクリックしてデバイス選択画面を閉じます。

(5) 次に、画面右側の[ユーザ選択]ボタンを押します。ユーザ選択画面が表示されます。

終了② 並べ替え条件[ユーザD] ユーザー覧 データ合計:2 、	
並べ替え条件[ユーザID] ユーザー覧 データ合計: 2 🔪	-
	12.36
- 表示項目: コーザID リンクNo. ユーザ名	
1234	
○ アクセス権限のないユーザ 2233434598	
○ 登録日付(YYYY/MM/DD)	
	-
₹	•
	_
○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	検索
ユーザID リンクNo. ユーザ名 部署	梢
	Þ

(6) (4)で選択した SD-Gate72 に登録するユーザを画面上段でクリックして選択し、[追加]ボタン

追加を押します。

選択したら、[終了]をクリックしてユーザ選択画面を閉じます。

(7) アクセス権限登録画面の下部にある[ユーザアクセス権限リストを保存する]ボタンを押します。こ れでアクセス権限の登録が完了しました。

アクセス権限を登録すると、画面右上に「データの同期を行ってください」というメッセージが表示 されます。右隣の[データの同期]ボタン *** を押してデータの同期を行うと、アクセス権限を設 定した SD-Gate72 にこのユーザ情報が登録されます。データの同期については「6 データの転 送」をご参照ください。

<u>注意:このあと「6</u> データの転送」の作業を行うまでは、ユーザ情報は SD-Gate72 本体へはま だ登録されません。SD-Gate72 本体にユーザ登録するには、「6 データの転送」を行ってください。 5.4 ユーザを更新する

ユーザの登録内容を更新します。

- (1) ユーザ画面の左側で、更新したいユーザをクリックして選択します。
- (2) 画面右側で、更新内容を入力します。
 - [ユーザ ID] ユーザ ID を変更するには、ユーザ ID 入力欄の右にある[変更]ボタンを押します。 ユーザ ID 変更画面が表示されます。IC カードを変更する場合も、この[変更]ボ タンから行ってください。
 - [名前] 随時変更できます。
 - [部署] 随時変更できます。
 - [リンク No.] 随時変更できます。
 - [認証方法] カード ID を変更する場合、または「指紋のみ」から「カードと指紋の組み合わせ」 に変更する場合は、ユーザ ID の[変更]ボタンを押し、カード ID の登録を行った後、 認証方法を変更します。

「カードのみ」から「指紋のみ」または「カードと指紋の組み合わせに変更する場合は、指紋の登録を行ってください。

- (3) ユーザ画面右側の[ユーザのアクセス権限]タブをクリックすると、アクセス権限の更新を行うことが 出来ます。「5.3 アクセス権限の登録」をご参照ください。
- (4) 画面右上の保存ボタン 2を押します。これでユーザの更新は終了です。

<u>注意:このあと「6</u>データの転送」の作業を行うまでは、ユーザ情報は SD-Gate72 本体ではま だ更新されません。SD-Gate72 本体のユーザ情報を更新するには、「6 データの転送」を行っ てください。

5.5 ユーザを削除する

- ユーザを削除します。デバイスへのアクセス権限も同時に削除されます。
- (1) ユーザ画面の左側で、削除したいユーザをクリックして選択します。
- (2) 画面右上の削除ボタン () を押します。これでユーザの削除は終了です。

<u>注意:このあと「6</u> データの転送」の作業を行うまでは、ユーザ情報は SD-Gate72 本体からはまだ 削除されません。SD-Gate72 本体のユーザ情報を削除するには、「6 データの転送」を行ってくだ <u>さい。</u>

PC にユーザ情報を残したまま、デバイスのユーザ登録を削除することもできます。

(1) ユーザ画面右側の[ユーザのアクセス権限]タブをクリックし、該当するデバイスへのアクセス権限を 削除します。詳しくは「5.3 アクセス権限を登録する」をご参照ください。 5.6 ユーザをエクスポート / インポートする

■ ユーザのエクスポート

- ユーザのエクスポート機能を使って、ユーザ情報を CSV ファイルなどに出力します。
- (1) SDM の[ユーザ管理]メニューから[ユーザをエクスポート]を選択します。



(2) ユーザエクスポート画面が表示されます。出力ファイルの形式、エクスポート項目を選択します。

B	2ーザ情報をエクスポート	×
i	終了(2)	
	ユーザデータをテキストファイルにエクスポート	1
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	- データの区切り文字 © カンマ区切り(、) C 固定長 C その他:	Ī
	-エクスポート項目を選択 ビューザD ビューザ名 ビ部署 ビリンクNo ビ権限	1

- (3) [エクスポート]ボタンを押します。
- (4) エクスプローラ画面が表示されます。出力先のパス・ファイル名を指定し保存ボタンを押します。

エクスポート					<u>?×</u>
保存する場所①:	C SDM(V1.00)		•	🕂 🖻 🖆 🎟	
していたファイル	🛅 Database				
び デスクトップ					
کې ۲۲ ۴۴ع ک					
אר בצעב -א דר בצעב -א					
र्ज इन रेश-१७-१					
	ファイル:名(<u>N</u>):	user		•	保存⑤
	ファイルの種類(工):	Text files (*.TXT)		•	キャンセル

(5) エクスポートが実行されます。

■ ユーザのインポート

ユーザのインポート機能を使用して、CSV ファイルなどからユーザ情報をインポートします。インポートファイルは次のように作成してください。

[ファイル形式] CSV または固定長 拡張子は".txt"

[項目] 次の項目をインポートできます。項目の並び順、項目の有無は問い ません。

・ユーザ ID (半角数字 10 文字以内)未入力可

- ・ユーザ名(半角英数字 50 文字または全角 25 文字以内) 未入力可
- ・部署(半角英数字 20 文字または全角 10 文字以内)未入力可
- ・リンク No., (半角英数字 10 文字以内)未入力可
- (1) SDM の[ユーザ管理]メニューから[ユーザをインポート]を選択します。



(2) インポートファイルを選択し、[開く]ボタンを押します。

インポートファ	イルを選択	र ।				? ×
ファイル	の場所①:	C SDM(V1.00)		•	🗢 🗈 💣 🎫	
最近使った	う をファイル	Database				
آ ارکت	} ראד					
<mark>ک</mark> ۲۲ ۴۴) אנאבי					
עב איז) ピュータ					
বর্ণ রুখ	トワーク	ファイル名(<u>N</u>):	user.txt		-	開((())
		ファイルの種類(工):	Text files (*.TXT)		T	キャンセル
			🗖 読み取り専用ファイルと	として開く(<u>R</u>)		

■ インポートファイルの拡張子について

インポートに使用できるファイルは、拡張子が".txt"のファイルです。CSV ファイルで拡張子が".csv"の場合は、".txt" に変更してください。 (3) ユーザインポート画面が表示されます。

☆
<u> 通インボート</u>
データの区切り文字 © カンマ区切り(.) C 固定長: 項目サイズを設定 C その他:
テキストファイルをインボート:
C:¥Program Files¥SDM(V1.00)¥user.txt 変更
インポート項目の関連付け
ユーザID:または「自動ID:1
ユーザ名: 💌
部署:
עלעני: 💽
デフォルトの認証設定: 指紋
<u><u></u></u>

[データの区切り文字]

インポートファイルのデータ形式を指定ます。 カンマ区切りの CSV であれば「カンマ区切り]、カンマ以外

の文字で区切った CSV であれば[カノマ区切り]、カノマ以外 の文字で区切った CSV であれば[その他]を選択して区切 り文字を入力します。固定長であれば[固定長]を選択し、 [項目サイズを設定]ボタンを押して各項目のサイズを入力 します。

[テキストファイルをインポート]

[インポート項目の関連付け]

ファイルのデータ形式および項目の関連付けを行います。 ユーザ ID をインポートしない場合は、[自動 ID]にチェックを 入れると、自動的に連番の付与が行われます。

「変更」ボタンを押し、インポートするファイルを指定します。

(4) [インポート]ボタンを押すと、インポート処理が行われます。データ量が多い場合は数秒時間が かかることがあります。



■ インポートがエラーになる場合、次のことを確認してください

- ・ インポートファイルの項目順は、インポート画面で指定した順と合っていますか?
- ・ ユーザ ID に数字でない文字が含まれていませんか?数字の前後に空白(スペース)が入っていませんか?

6 データの転送

SD-Gate72本体にはユーザ情報が記録されるメモリがあります。センサーから指紋やカードの情報が 入力されると、その情報と照合を行うしくみになっています。

ー方、PC にインストールされた SDM にもデータベースが存在します。SDM でユーザ登録を行うと、ユ ーザデータはこの SDM のデータベースに登録されますが、まだ SD-Gate72 本体には転送されていま せん。転送処理を行うことによって、データは SD-Gate72 本体へ転送され登録されます。

ユーザ情報の更新・削除も同様に、ユーザデータの転送を行ってはじめて SD-Gate72 本体に反映 されます。

転送するには2つの方法があります。

■ データの同期をとる

SDM で登録・更新・削除したユーザ情報を SD-Gate72 本体に反映します。また、SD-Gate72 本体の操作で登録したユーザ情報を SDM で受け取ります。SDM とデバイスのユーザデータベースを同一の状態に保つための処理です。これを同期といいます。

<u>通常はこの方法で転送処理を行います。</u>



■ データベースを複写する

上記の同期処理と違い、SDM のユーザデータベースを SD-Gate72 本体のユーザデータベースに、または SD-Gate72 本体のユーザデータベースを SDM のユーザデータベースに完全に上書きします。上書き先のデータベースに、未同期のユーザ情報が存在した場合は、この処理を行うと消去されます。 SDM と SD-Gate72 本体のデータベースに不整合が発生した場合などに使用する機能です。



ユーザデータベースの複写

6.1 同期をとる

(1) SDM のメニューより[データの同期]をクリックします。または画面右上の[データの同期]ボタンを押します。



(2) 同期画面が表示されます。

Ŗ	データの同期								×
Ť	*7②								
ſ					データの同期				
	[
	0	タの同期		期前に内容を確	66.2				
ľ	処理								
	日付	時間	デバイス名	ב –	·ザID	実行内容	結果		
	►								
	•								- FI
ŀ	T5-								
	日付	時間	デバイス名	7-	tid		エラーメッセージ	;	
	•	- 31 - 3	2711710		,		110 MC 0		
	•								
ŀ	司期結果								
	日付	デバイスネ	2	「友市シロード合	計劃除合計	- 町2名	見合計	更新合計	
	•	1271171	U			14/1	4001		
		1				I		1	
l									

(3) [同期前に内容を確認]ボタンを押すと、このあと同期処理を行ったときにデバイスに登録・更新・ 削除されるユーザを確認することができます。確認してOKでしたら、[終了]をクリックして画面を 閉じます。

 同期前に内容を 終了②	雀 認		×
	実行予定		合計:3
H	→ ►	► C	4
デバイス名	ユーザID	実行内容	
GATE-105	903	ADD	
GATE-105	902	ADD	
GATE-105	901	DEL	
			-
•			▶

(4) [データの同期]ボタンを押すと、同期処理が実行されます。SD-Gate72本体側でユーザ ID な しで登録されたユーザが存在する場合、SDM 側にデータ転送される際に ID 入力を促す画面が 表示されます。[ユーザ ID を割当]のセルにユーザ ID を入力します。

📓 ユーザIDを割当		×
終了(型)		
デバイスで	新規登録したユーザヘユー	fIDを割当
デバイス名:	GATE-105	
新規のユーザID	ユーザIDを割当	
I 1	1234	
<u> </u>		
	🗸 ок	

(5) 同期処理が完了すると、SDM で登録されたユーザ情報がデバイスに転送され、SDM から削除 されたユーザは、デバイスから削除されます。処理結果が画面に表示されますので確認してくだ さい。エラーの場合はメッセージに従い、登録・削除等をしなおし、再度同期を行ってください。 注意: 同期処理は、SDM に登録してあるすべてのデバイスに対して行われます。接続されて いないデバイスが登録されている場合は、そのデバイスに対する同期処理はエラーとなります。

冒 終	データの同期 了②								×
				データの同期	8				
	₿ デ –タの	同期	😂 同期前に内容	容を確認					
첫	0理								
	日付 時	間 デバイ	え名	ユーザID	実	官行内容	結果		
	2007/02/2217	:50:25 GATE :50:25 GATE	-105 -105		903 A	DD IEL	成功		
	2007/02/2217	:50:26 GATE	-1 05		0 U	IPLOAD	成功(新しいユー	ザ登録がデバイス	(Cð
Ľ	200770272217	:50:26 GATE	:-106		0 0	IPLOAD	成切(新しいユー)	サ登録かテハイス	.(cØ
Ŀ	•								
┢	日付時	間 デバイ	7名	חז#– ב		11日本	エラーメッセージ		
Þ	2007/02/2217	:50:25 GATE	-105	12 910	902 A	DD	Error![DNLOAD]	: Error [1125]:	指紋数
Ŀ	•								Þ
P	司期結果	パイフタ			· #+	取得	[스計] [軍新会計	
	2007/02/22GA	ATE-105	× > > 4	1		1	0	0	
P	2007/02/22GA	AT E-1 06		o		0	0	0	
L									

6.2 データベースを複写する

SDM のユーザデータベースを SD-Gate72 に、または SD-Gate72 のユーザデータベースを SDM に、 完全に上書きします。上書き先のデータベースに、未同期のユーザ情報が存在した場合は、この処 理を行うと消去されます。

SDMとSD-Gate72本体のデータベースに不整合が発生した場合などに使用する機能です。

- ・SDM から SD-Gate72 への複写
 - 指定した SD-Gate72 へのアクセス権限を持つユーザ情報が SD-Gate72 側へ と上書きされます。

・SD-Gate72からSDM への複写

SDM 側のユーザ情報が上書きされます。複数のデバイスへのアクセス権限を持つユーザであっても、強制的に情報は書き換えられます。

(1) SDM の[ユーザ管理]メニューより[データベースを複写]を選択します。



(2) ユーザデータベースの複写画面が表示されます。



(3) 画面中央部で、ユーザデータベースの上書きを行うデバイスをクリックして選択します。

(4) 画面最下部で、複写の方向を選択します。

複写方向:	● デバイスからユ~	-ザー覧へ	○ ユーザー覧カ	からデバイスへ	
[デバイスからユーナ	ゲー覧へ]	SD-Gate2 ス 書きします。 それらは削除	本体のユーザデ- SDM に未同期 えされます。	ータベースを SDM のユーザ情報が	に完全に上 存在しても、
[ユーザー覧からデ	バイスへ]	SDM のユー スに完全に」 ザ情報が存	ザデータベースを 上書きします。SI 在しても、それら	SD-Gate2本体 D-Gate72 側にオ は削除されます。	:のデータベー ミ同期のユー

(5) 複写の方向を確認したあと、画面右下の[複写を開始]ボタンを押します。複写が実行されます。

🔛 複写を開始	

7 ログ管理

SD-Gate72 は本体にメモリを内蔵しており、SD-Gate72 でどのような操作が行われたかが記録されます。これをログといい、SDM を使用して PC のログデータベースにコピーして管理することができます。

■ ログの取得

ログを取得するには、次の方法があります。 ・ログが必要なときに、その都度取得する ・常に最新のログを取得する(SCIIIの常時接続時のみ)

■ ログをエクスポート

ログを CSV ファイル、固定長ファイルなどに出力します。

■ ログの出力

ログをレポート形式で印刷・出力します。

ログを削除 SDM データベースのログを削除します。データ量が多くなった場合に使用します。

7.1 ログを取得する

(1) SDM の[ログ管理]メニューから[ログを取得]を選択します。



(2) ログ取得画面が表示されます。

1000000000000000000000000000000000000				×		
100 JUL 100	ロガを取得					
選択したデバイス 合計:0						
	日付 ▶	結果 潤 デバイス名	メッセージ			
<u>۲</u>	•			Þ		

(3) 画面左側の[デバイスを選択]ボタンを押します。デバイス選択画面が表示されます。

イス一覧 データ合計:2 🔪 校都 そ続 [ype:E][IP:192.168.001.105][PORT:3001] [ype:E][IP:192.168.001.106][PORT:3001]
8 ≧ 8 ≧ 7月1時余 全て追加 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [



- (4) 画面上段より、このユーザが使用する SD-Gate72 をクリックして[追加]ボタン 追加 を押します。 下段には選択したデバイス名が表示されます。
- (5) [終了]をクリックしてデバイス選択画面を閉じます。

(6) ログ取得画面の右側の[選択したデバイスからログを取得]ボタンを押します。前回取得日時以降に発生したログが、SDM データベースにコピーされます。

■ ログ件数について

SD-Gate72 本体に保存されるログは 1600 件です。最大数まで達した後は、古い順に上書きされます。 SDM による 定期的な管理をお勧めします。

7.2 ログをエクスポートする

ログのエクスポートを行います。テキストファイル、CSV ファイルなどにログデータベースの内容を出力します。

(1) SDM の[ログ管理]メニューより[ログをエクスポート]を選択します。



(2) ログエクスポート画面が表示されます。エクスポートするログの抽出条件・出力先などを設定します。

🕎 ログをエクスポート		×
終了(2)		
	ログをエクスポート	
 □ヴタイプ ○ 全て ○ 入室 データの区切り文字 ○ カンマ区切り(.)○ 固定長○ その他 	 ○ イベント 抽出条件 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	O Iラー-覧
エクスポート項目	開始日付: <mark>2007/02/26</mark>	- 開始時間を指定 : 0:00:00 📑
ログ項目を選択	終了日付:2007/02/26	 静 (1)
▲上へ ♥ 下へ ■ 前除 項目のサイズ/穴埋め文字 「項目をりォーチーションで囲む	 デバイス名で範囲指定 ユーザIDで範囲指定 ご 部考 遅折部署: 	から <u>ま</u> で から <u>ま</u> で
	- F #(🗐 選択条件をクリア

- ・ログタイプ [入室] 認証成功して開錠したときのログを抽出します。
 - [イベント] 管理イベント(SD-Gate72 本体側でのユーザ登録やデバイス設定 変更等)、リレーイベント(ドアリレー、アラームリレーの動作等)、警告 イベント(デバイスの不正な取り外し等)のログを抽出します。
 - [エラー] 認証エラーのログを抽出します。

```
注意:デバイスの設定で、イベントログ・エラーログを記録するよう設定されていない場合は、
ログは出力されません。デバイス設定については「4.4 デバイスの設定を行う」をご参照ください。
```

- ・データの区切り文字 カンマ区切り、固定長、あるいは指定の区切り文字での出力を選択 できます。
- ・エクスポート項目 エクスポートファイルに出力する項目を選択します。

[項目のサイズ/穴埋め文字]のボタンを押すと、項目の長さや、空白 を埋めるための文字等を指定できます。

- ・抽出条件 出力するログを抽出する条件を指定します。
- ・参照 出力ファイルのパスを指定します。[常にこのファイルに出力]チェックボ ックスにチェックを入れると、ファイルのパスが記憶されます。
- (3) 条件等を設定し終えたら、画面下部の[エクスポート]ボタンを押します。

7.3 ログを出力する

(1) SDM の[ログ管理]メニューから[ログを出力]を選択します。ログ出力画面が表示されます。



(2) ログの出力条件を入力し、[ログを出力]ボタンを押します。ログタイプについては「7.2 ログをエク

スポートする」をご参照ください。

<mark>買 ログを出力</mark> 総了(2)	×
ログレポートを生成	
□ ^{プタイナ} ● <u>住て</u> ○ 入室 ○ エラーー覧 ○ イベント	
抽出条件 ✓ 日付範囲指定 2007/02/01	
□ デバイス名で範囲指定 から	
□ ユーザIDで範囲指定	
■ 部署 部署選択 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	1
【3] ログを出力】 【3] ログを出力】	<u>'</u>

(3) ログの印刷イメージが表示されます。

ブレビュー							
	•• # ###		0.50				
							2007/03/01 16:44:45
÷					口グ報告書		
	解翻:2007/02/01 - 20	107/03/01					
1	デバイス名:全て						
	ユーザロ:全て						
ŧ.	ログタイプ・全て						Page : B
	日付 時間	デバイス名	ユーザID	ユーザ名		2.8	状態
3	2007/08/01 10:56:49	GATE-105	0				リレーを開始とします。
	2007/00/01 10:55:49	GATE-105	1	拉布17推子		验热器	λ π
	2007/03/01 11:47:00	GATE-105	1	2417柱子		经济部	管理者モードにアリセス
1	2007/03/01 11:47:19	GATE-105	1	2417花子		经济部	管理者モードを称了
	2007/03/01 13:58:36	GATE-105	1	2417株子		经济部	管理者モードにアウセス
1	2007/02/01 12:55:48	GATE-105	0				管理者が追加されました
	2007/03/01 12:57:00	GATE-105	1	2417花子		建物器	管理者モードを除了
17	2007/08/01 14:08:09	GATE-105	0				リレーを開始します。
	2007/00/01 14:08:09	GATE-105	1	2417推子		建铁器	入園
	2007/03/01 1408:12	GATE-105	0				リレーを開始します。
	2007/03/01 14:08:12	GATE-105	1	2417指子		经济部	入室
	2007/03/01 14:08:15	BATE-105	0				リレーを開始します。
	2007/08/01 14:08:15	GATE-105	1	2417推子		经条部	入18

7.4 ログを削除する

SDM のログデータベースのサイズを縮小したい場合に実行します。

(1) SDM の[ログ管理]メニューから[ログを削除]を選択します。



(2) ログの削除条件を入力し、[削除]ボタンを押します。

第日グを削除	×
終了(型) 口方表別(絵	
	[ラー一覧
C 1/01	
削除条件	
ガルス名と単語通信に	まで
□ ユーザIDで範囲指定	
ħ6	まで
	🔇 選択条件をクリア
👘 削除	

7.5 ログを自動的に取得する

常時接続の場合、ログ収集ツールを使用すると、接続されている SD-Gate72 を常に巡回または定時に巡回して、最新のログを収集することができます。

<u>注意:ログ収集ツールの実行中は、SDM を使用しないでください。アプリケーションが正しく実行され</u> ない場合があります。

(1) Windows のスタートメニューより、プログラム > SDM > ログ収集ツール を選択します。



(2) ログ収集ツールが起動します。

※ ログ収集ツール 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、			
システム日付:2007/02/26 システム時間:05/21:14	◎ 常に実行(モデム接続	ログ収集コントローラ 誌サポートしていません)	
♀ 開始 ♀ 停止 □	□ 実行時間を	<u></u> から <u></u>	までに限定
🧐 デバイスを選択 🛛 🧟 全てのデバイスを選択	○ 定時実行(モデム接続	涜をサポートしています)	
デバイス名 接続 状態	実行時刻1:	変更削除	
	実行時刻2: 二	変更 削除	次回定時募行
	実行時刻 3:	変更 削除	
	実行時刻 4: _:_	変更 削除	
	□ 自動的にテキストファイ	イルにエクスポート	
]	J.		
ログ収集結果			<u>ی</u>
			~

(3) 画面左中段の[デバイスを選択]ボタンを押し、巡回する SD-Gate 72 を選択します。



(4) 画面右上段で、巡回の条件を入力します。

□ 実行時間を	_:_	ກຣ 📃	 までに限定
○ 定時実行(モデム接	モ続をサポート	しています)	
実行時刻1: <mark></mark>	変更	削除	
実行時刻 2: <mark></mark>	変更	削除	次回定時実行
実行時刻 3: <mark></mark>	変更	削除	
実行時刻 4: 🛄	変更	削除	
実行時刻 5: <mark></mark>	変更	削除	

・[常に実行]

選択されたデバイスを常に巡回し、発生したログを収集します。実行 時間帯を指定できます。 選択されたデバイスを、指定した時刻に巡回し、ログを収集します。

•[定時実行]

・[自動的にテキストファイルにエクスポート]

チェックをいれておくと、最新のログを収集するたびに、指定のファイル に追加してエクスポート出力します。

<u>エクスポートファイルの形式は「7.2 ログをエクスポートする」で指定し</u> た形式が適用されます。 (5) 画面左上段の開始ボタンを押すと、デバイスの巡回が開始します。定時実行の場合は、指定の時刻になると巡回を開始します。



(6) 巡回が開始後必ず、画面左中段でデバイスの状態を確認してください。[状態]の欄に STARTと表示されるデバイスは接続・巡回に成功しています。FAILと表示されるデバイスがあ る場合は、そのデバイス接続に失敗しており、巡回されません。FAILと表示される場合は[停 止]ボタンで巡回をいったん停止し、該当のデバイスとの接続を確認してから、再度[開始]ボタ ンを押してください。

	炎 開始	♀ 停止	
🙁 7 7543	スを選択	<u>ネ</u> 全てのデバイ	(スを選択
デバイス名 ▶ GATE-105 GATE-999	接続 [Type:E][IP:1: [Type:S][Dev	92.168.001.105][I iceID:1][COM:1][[状態 ▲ START FAIL

8 勤怠レポートの作成

SDM データベースに収集したログを集計して、勤怠レポートを作成することができます。

8.1 勤怠レポートを作成する

(1) Windows のスタートメニューより、プログラム > SDM > 勤怠レポート作成ツール を選択します。



(2) 勤怠レポート作成ツール画面が表示されます。

🧕 勤怠レポート作成ツール	X				
終了(2)					
動怠レポートを作成					
しポート ト スクリンズート スクリンズー スクリンズ スクリンズー スクリンズ スクリンズ スクリンズー スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズー スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリンズ スクリン					
レポートタイプ	レポートオプション				
● 詳細	□時計開始時間: 08:00:00 午前 ÷				
○ 概要	一日の最小業務時間: 00 時間 00 分間				
	レポートヘッダー:				
レポート形式					
・ 一日の最初と最後のデータを 出退勤とみなす	抽出条件				
◎ 全てのデータを出退勤とみなす	2007/02/26 評 から 2007/02/26 評 まで				
グループ化					
⊙ ユーザID	□ デバイス名で範囲指定				
◎ 日付	からしまで				
並べ替え順	□ ユーザIDで範囲指定				
© ユーザID	から まで				
○ユーザ名	□ 部署				
O 部署	部署を選択:				
P					

・レポートタイプ [詳細] 抽出したログを1ユーザごとに1日分ずつ集計します。

[概要] 抽出したログを1ユーザごとに全日分集計します。日付の範囲を月・ 週単位にすることで、月ごと・週ごとの集計を行うことができます。

・レポート形式 [一日の最初と最後のデータを出退勤とみなす]

1ユーザの入室ログのうち、一日の一番早い時刻の入室ログを出勤 時刻とし、一番遅い時刻の入室ログを退勤時刻とみなして勤務時 間を集計します

[全てのデータを出退勤とみなす]

1ユーザの入室ログ1回ごとに、入室・退室とみなして勤務時間を集 計します

[グループ化]

ユーザごとに集計するか、日付ごとに集計するかを選択できます

[レポートオプション]

時計開始時間 この時刻より前に入室しても、勤務時間として は無効とみなします。

ー日の最小業務時間

この時間を超過した勤務時間を超過勤務時 間として集計します。不足した場合はマイナス 集計されます。

[レポートヘッダー] 出力する帳票の見出しを指定します。

(3) 条件等を入力し終えたら、画面上部の[レポート]ボタンを押します。印刷イメージ画面が表示されます。[エクスポート]ボタンを押すと、レポートの内容が CSV ファイルとなって出力されます。

	劃
😼 レポート	🗈 エクスポート
 [[] 上 内 / -9	

٦

[詳細]レポート出力例

しまーと形式・ユ	コの是如と是後のデ。		コロの是小業務時間・	1時間00公問	陆斗即松呐	問・12.00.00
レホートル300 日付の範囲:200	コの城和こ城1&のブ 7/02/01 から 200	- ※を出込動とのは 9 7/02/28 まで	一口以取小采窃时间。		마슈트 #]%= 마슈	B]: 12:00:00
デバイス名で範囲	指定:すべて					
ユーザIDで範囲指	定:すべて					
部署:すべて						
ューザID: 1	ሀጋታ No. :	名前: セキュア花	Ŧ	33	: 總務部	
日付	入室時間	退室時間	一日の合計在室	時間 超	過時間	
2007/02/22	15:28:27	15:34:25	0.10	-0.9	D	
合計: 1			0.1	(+) ()	(-)-0.9	
ューザID: 10001	リンク No. :	名前:			ŧ :	
日付	入室時間	退室時間	一日の合計在室	時間 超	過時間	
2007/02/02	12:00:00		-1	-2.0	D	
合計: 1			-1	(+) ()	(-)-2	
ューザID: 10002	リンታ No. :	名前:		3 2	F :	
日付	入室時間	退室時間	一日の合計在室	時間超	過時間	
2007/02/01	12:00:00		0	-1.0	D	
2007/02/05	12:00:00		0	-1.0	D	
2007/02/06	12:00:00		-1	-2.0	D	
2007/02/08	12:00:00	15:41:51	3.70	2.70		
2007/02/09	12:00:00		0	-1.0	D -	
2007/02/14	12:00:00		-1	-2.0	J	
2007/02/15	12:00:00		-1	-2.0		
2007/02/21	10:45-51	10.52.40	U 012	-1.0	U 0	
2007/02/22	19.40.01	19.02.49	0.12	-0.0	o 0	
[]レポート出	力例					
		出勤時間	間概要レポート		2007/03/01	17:12:06
حـ∠π ا هـ ا	미 쇼 문 하지는 문 신성 소 ㅋ"	[5년] (1) (日本) (- 3) (- 4) (1 #### 00 // 82		
レポート形式:→	日の最初と最後のデ、 7/02/01 かた - 200	ータを出退期とみなす フ/02/28 キブ	→日の最小業務時間:	時間 UU 分間		
デバイス 名で 範囲	1,52,51,55,200 指定:すべて	17 02/20 & C				
2.11177-010 #6.00	定:すべて					
フーザIDで範囲指	~					
ユーザIDで範囲指 部署:すべて						
ユーザIDで範囲指 部署:すべて <u>ユーザID</u> <u>リング</u>	<u>'No. 名前</u>	ŧ	四日 1	計時間 合	計超過時間	
ューザIDで範囲指 部署:すべて <u>ユーザID リング</u> 1	<u>'No. 名前</u> セキュア有	₽ 1911 - 1912 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 19 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 191 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 191 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 191 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 191 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1915 - 1913 - 191 1 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1913 - 1915 - 1915 - 1915 - 1913 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1915 - 1	<u>『署</u> 1 【 務部	<u>計時間</u> 合: 0.1 (+)	<u>計超過時間</u> 0 (-)-0.9

- FAQ -

■ 違う扉から出入りしても集計されますか? 集計されます。集計はユーザ ID ごとに行われますので、どのデバイスで認証を行っても集計対象となります。

■ 時計開始時間とは何ですか? 時計開始時間とは、集計を開始する時間のことです。例えば、時計開始時間を 9:00 に設定しておきますと、 8:30 に入室しても、勤務時間は 9:00 から集計され、開始時間前の 30 分は集計されません。

9 データベースの管理

SD-Gate72のデータベースはバックアップをとっておくと、データの破損などが起こった際にバックアップフ ァイルからデータを復元することができます。またログデータの容量が多くなった場合なども、バックアップ をとってから削除することで、データベースを軽量化することができます。また、定期的にデータベースの 最適化を行うことで、データベースの無駄を省き最適な状態で利用することができます。 データベースの定期的なメンテナンスをおすすめします。

9.1 データベース管理ツールを使用する

<u>注意:テータベース管理ツールの実行中は、SDM を起動しないでください。アプリケーションが正しく</u> 実行されない場合があります。

(1) Windows のスタートメニューより、プログラム > SDM > データベース管理ツール を選択します。



(2) データベース管理画面が表示されます。

🤹 データベース管理ツール			×			
終了②						
データベース管理ツール						
いたまです。 インデックスの再構築	 データベースの最適化	<mark>創</mark> ログをバックアップ	<i>©</i> ログをリストア			
<mark>に</mark> すべてをバックアップ	日 すべてをリストア					
			*			
			•			

(3) データベース管理画面が表示されます。

[インデックスの再構築] データベースのインデックスが破損した場合に使用します。

[データベースの最適化] データベースの無駄なスペースを取り除きます。定期的にご利用になることをおすすめします。

- [ログをバックアップ] ログのデータベースをバックアップしアーカイブ化します。
- [ログをリストア] バックアップしたアーカイブファイルから、ログデータを復元します。
- [すべてをバックアップ] すべてのデータベースをバックアップしアーカイブ化します。

[すべてをリストア] バックアップしたアーカイブファイルから、すべてのデータベースを復元します。

10 その他の機能

SDM をさらに安全で快適にご利用いただくための機能です。

10.1 オペレータを設定する

SDM の使用者(オペレータ)を登録できます。オペレータの登録・削除を行ったり、どのオペレータがどの機能を使用できるかを登録することができます。

(1) SDM の[システム]メニューより[オペレータの設定]を選択します。オペレータの設定画面が表示されます。



(2) それぞれのセルをクリックすると、設定を行うことができます。

オペレータの設定				<u> </u>		
終了(2)						
オペレータ設定の追加/削除/編集						
ログオン: ADMIN	±1.5044	くしータを削除				
1947名	設定	7727-1	ナバイスの技術			
	管理者	パスワード	Yes	Yes		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
	オペレータ		No	No		
				<u> </u>		

[ログオン名] SDM にログインするときの名前です。

[設定] SDM の使用権限です。[管理者]で登録されたオペレータのみ、このオペレータ 設定画面を使用することができます。

[パスワード] パスワードの登録・変更を行います。
[デバイスの接続]~[カードをインポート]

各機能の使用制限を設定できます。[Yes]だと使用可、[No]だと使用不可となります。

(3) 設定し終えたら、[終了]をクリックして画面を閉じます。

10.2 パスワードを変更する

現在ログインしている SDM オペレータのパスワードを変更します。

(1) SDM の[システム]メニューより[パスワードを変更]を選択します。



(2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、[OK]ボタンを押します。

🕎 パスワードを変更 🛛 🗙
終了(2)
ログオンバスワードの変更
ログオン名: ADMIN
現在のパスワード:
新しいパスワード:
新しいパスワード(確認):
СК

10.3 データベースの設定を変更する

SDM の**データベース**のパスを変更します。パスを共有サーバに変更し、データベースを共有化すると、 複数の PC に SDM をインストールして使用することができます。(詳しくは「3.3 2 台以上の PC で SDM を使用する場合」をご参照ください。)

(1) SDM の[システム]メニューより[データベースの設定]を選択します。



(2) データベースの設定画面が表示されます。[参照]ボタンを押し、データベースのパスを指定します。

📅 データベースの設定	×
終了②	
データベースの設定	
	<u>+</u>
テータベースのパス:[Ci#Program Files#SDM(V1.00)#database	<u>愛照</u>
「ODBC オプション	
□ ODBCで外部データベースに接続する	
(接続データ:デバイス、ユーザ、ログ、アクセス権限)	
	#
	-18
🐯 <u>о</u> к	

10.4 データベースを空にする

SDM のデータペースを空にします。ユーザ・デバイス・ログのすべてのデータが削除されます。

(1) SDM の[システム]メニューより[データベースを空にする]を選択します。



(2) [データベースを空にする]ボタンを押します。

📝 データベースを空にする	×
終了②	
データベースを空にする	1
この操作によってユーザ登録データ、ユーザ権限データ、デバイスデータが削除 されます。 ロバは保持されます	٦
C44d 90 II 940/#T9C44d 90	
🖏 データベースを空にする	

10.5 ユーザデータを抽出する

登録ユーザ数が多く、目的のユーザが見つけにくい場合などに使用します。

(1) SDM の[システム]メニューより[ユーザデータを抽出]を選択します。



(2) ユーザデータの抽出条件を入力し、[OK]ボタンを押します。

選択条件を設定		
終了(2)		
<u>ž</u>	観れ条件を設定	
- ユーザロで範囲指定	₩5 	まで
リンクNo.で範囲指定 -	から	まで
■ 部署 部署を選択		V
☑ 選択条件なし		💁 選択条件をクリア
	₿ок	

10.6 登録ユーザを出力する

指紋登録のないユーザ・アクセス権限のないユーザ・アクセス権限のあるユーザを、それぞれレポート 形式で出力します。

(1) SDM の[システム]メニューより[登録ユーザを出力]を選択します。



(2) レポートタイプ、選択条件を入力し、[レポートを出力]ボタンを押します。

🗑 登録ユーザを出力
終了②
ユーザ登録一覧表を作成する
► レポートタイプ
◎ 指紋登録のないユーザ
○ アクセス権呼吸のあるユーザ ○ アクセス権呼吸のないユーザ
選択条件
□ ユーザIDで範囲指定
から まで
□□ 部署
部署を選択
💁 選択条件をクリア
1日 レポートを出力
<u>P</u>

索引

あ

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
IP アドレス14, 20
アクセス権限3
アンインストール10

い

ECom	14, 20
イーサネット接続	
イーサネット通信	
インストール	6

え

SDM クライアント	8
SDM サーバ	8

お

オペレータ7	7,	66	3
--------	----	----	---

き 勤怠レポート......61

-
L

COM ポート.....12, 16, 18, 30

Γ

τ

データベー	-ス		. 8,	46,	50,	64,	68,	69
デスクトッ	プ指紋ス	キャナ				6,	10,	15

デバイス	12
デバイスID	18
デバイスマネージャ	30
telnet	20

٢

同期	
時計	24

は

ハードキー					6
パスワード	9,	16,	21,	66,	67

ゆ

ユーザ	
ユーザ ID	31, 32, 34, 48
ユーザデータの転送	
ユーザのインポート	
ユーザのエクスポート	

6

LAN......14

リンク No

ŋ

れ

レポート......61, 71

ろ

ログ	
ログイン	
ログオプション	
ログ収集ツール	
ログタイプ	
ログのエクスポート	
ロケーション	

株式会社 BgenuineTec www.bgenuinetec.com